

視点

View Point

く ぼ た か ず み
久保田 一臣 氏

長野商工会議所
地域イノベーションプロジェクト運営委員長
株式会社タカチホ 代表取締役社長

「昨年、有志で三重大学の西村訓弘教授らの取り組みを視察して、地域イノベーションとそれを生み出す経営者の学びの大切さを知りました。三重での成功事例は長野でもきつとできると、この長野で地域イノベーションを群発させることを目的に、私たちの活動が始まりました。一人でも多くの経営者が学ぶことの楽しさに気づく、小さなきつかけのひとなつになれたらと願っています。」

小さなイノベーションが群発し始めると、やがて地域を変えるイノベーションになる

イノベーションとは 既存の価値の「新結合」

—— 運営委員長をお務めの地域イノベーションプロジェクトについて教えてください。

久保田 この長野地域に小さなイノベーションを群発させるのがこのプロジェクトの目的です。

きつかけは、2024年10月に長野商工会議所中小企業政策委員会の企画で、当時の副会頭、浅井隆彦さん（現長野経済研究所理事長）と委員会の枠を越えた有志が三重大学の西村訓弘教授とその門下生企業を視察したことでした。

事前に西村先生の著書『社長100人博士化計画』を読んで刺激を受けた私たちは、直接先生のお話を伺い、その実践例を目の当たりにして、さらに大きな刺激をもらいました。

イノベーションと聞くと、技術革新とか創造的破壊といった言葉が浮かび、身構えたり尻込みしたりしがちです。しかし、現実のイノベーションは、企業が本来持つ価値を地域内で新しく組み合わせることで新しい価値を生み出す「新結合」にあると、私たちはこの視察で知ったのです。例えば、視察先の浅井農園様ではトマトを育てるためのハウスの熱に、熱を捨てていた植物油脂工場と組み、排熱エネルギーを活用したトマト栽培というイノベーションを起こした事例もありました。

こうした取り組みを目の当たりにして、「長野でもできるよね」「地方はまだ可能性を持っているよね」と参加者同士で話し合い、長野商工会議所にも協力をいただきながら活動を始めたところ、昨年11月に水野会頭のご指示で地域イノベーションプロジェクト運営委員会が発足しました。名ばかりの委員長ですが、もともと地域イノベーションの

す。

これまでの取り組みに参加して学びの楽しさを知ったメンバーの中には、この4月から長野県立大学の大学院に通い始めたメンバーもいますし、もともと修士号をお持ちの経営者で、さらに学ぼうと三重大学の博士課程に進まれたメンバーもいます。他のメンバーの中にも新事業を構想し、実際に地域イノベーションを起こそうとしている方もいます。私自身もこのプログラムを通して、「おみやげ」とは何か、当社が提供している価値とは何かを徹底的に問いました。そして、昨年5月に策定した新しい長期ビジョンにおいて、自らのあるべき存在を「地域魅力創造プロデューサー企業」と定義することができました。

きつかけ一つで、私たちは学びの楽しさ、大切さに気づくことができます。一度学ぶ楽しさを知ったら、その学びをより深める場を自分から積極的に求めるようになります。私たちは、最初の小さなきつかけづくりで、皆様のお役に立てたらと願っています。その先に、この地域で小さなイノベーションが群発し始めたら、やがてそれは地域社会全体を変えるような大きなイノベーションへつながるはず。

必要性を唱えた浅井さんやこの活動に取り組む皆の思い、水野会頭はじめ私たちを見守ってくださる方々の期待に応えたいと思っています。

ものごとの本質を深く考え、 追求する

—— 地域イノベーションを群発させるうえで、大切なことは何でしょうか。

久保田 個社が持つ価値を掛け合わせようとするとき、その価値が本質的な価値であること、言い換えると**解像度の高いもの同士を掛け合わせる**ことが求められます。例えば、0.8の解像度と0.8の解像度を掛け合わせても0.64くらいの荒いものになってしまう。解像度とは、地域課題とそれに対して自社が提供できる価値を深く考えて明確に描いていく力です。

とくに、社会が大きく動いている今にあつて、その変化を高い解像度で観察し、同じく高い解像度をもつて深く掘り下げた自社の価値を、同様に探究された他社の価値と結合させることが求められているのだと思います。

解像度を上げるために必要なのは経営者の学びです。ものごとの本質を、視野や視点や視座を意識的に変えながら深く考え、追求する、その方法論を身に付けるのに格好なのが、真理の探究の場である大学院であると西村訓弘先生は説きます。それゆえ『社長100人博士化計画』なのです。

学びの楽しさや大切さ、深く考える思考法を身に付けた人、つまりミ西村先生のような人がたくさん増えていくことで、個社の解像度が増し、群発的なイノベーションが起これると信じます。

学びの楽しさを 知るきつかけになれたら

—— 皆さんはこれまでにどんな取り組みをされてきましたか。

久保田 三重への視察で私たちが受けた刺激をより多くの経営者に共有していただきたくて、昨年、西村先生に長野へお越しいただきセミナーを開催しました。また、長野県立大学の穴山悌三先生にお願いして、長野商工会議所経営者イノベーション塾を全5回開講しました。今お話しした、視野や視点や視座を意識的に変えながら考える思考法を学ぶのが目的です。さらに、東京大学の森川博之先生、(株)ONBOARD代表取締役の大山りか氏をお呼びしてセミナーも実施しました。

その後、地域イノベーションプロジェクト運営委員会が正式に立ち上がり、今年は、「おにぎりせんべい」の(株)マスを傘下にもつIXホールディングス(株)代表取締役であり、赤福の創業家でもある浜田吉司氏をお招きしてセミナーを行いました。6月からは、第2期となる長野商工会議所経営者イノベーション塾を6回にわたって開講しますし、**秋には西村先生にもう一度お越しいただき、これまでの活動報告を兼ねたセミナーを予定しています。**

DATA

株式会社タカチホ
【設立】1949年2月28日
【所在地】長野市大豆島5888
【TEL】026-221-6677
【事業内容】観光土産品の製造／卸／小売、
温泉施設・アウトドアショップの
運営、商業施設の運営

横顔

オフの過ごし方は、「子育て」と話す。
長野市とその周辺にはいろいろな公園があるので、休日は2人の子どもを連れて、公園巡りを楽しんでいる。